

# ネットいじめの実態

子どもたちのインターネット機器の所有率の増加に伴い、さまざまなトラブルも増えています。その中のひとつがネットいじめです。ネットいじめは誰でも被害者にも加害者にもなりうるものです。被害を防ぐために、ネットいじめの実態を把握しておいてください。

## ネットいじめとはどのようなものか

ネットいじめの代表的な例を以下に紹介します。

- ・ 隠し撮りした友だちの写真や動画を、冗談半分の悪口と一緒にSNSに投稿する



- ・ チャットグループで特定の生徒の悪口を言う、または特定の生徒が発言したときだけ無視をする



- ・ SNSで特定の生徒になりすましたアカウントを作り、不適切な投稿をする



- ・ 無料通話アプリの(※)ステータスメッセージの欄に、誰のことかは明記せず、読む人が読めばわかるように悪口を書く



これ絶対私のことだよね……



※ステータスメッセージとは……無料通話アプリのプロフィールで、アカウント名の下に表示されるメッセージ。自己紹介や自分の近況、今の気持ちなどが書かれることが多い。

インターネット上のコミュニケーションは、顔の見えない相手との文字だけのやりとりです。文字だけで気持ちを伝えるのはとても難しく、対面での会話と同じ感覚で冗談を言っていたら、相手はそれをいじめと受け取っていたというケースもあります



ネットいじめは、外部からその状況を把握することが難しいものです。生徒自身や友だちがいじめの被害にあったときや、いじめが疑われる書き込みを見つけたときは、すぐに先生や保護者に相談するよう、学校全体で指導してください。